

令和7年度 第2回学校運営協議会

議 事 録

日時 令和7年11月4日(木) 13:30~16:00

場所 岡山県立勝間田高等学校 記念館3階会議室

(委員15名のうち、10名が出席)

1 開会行事

(1) 校長挨拶

- 委員の出席と、日頃の学校運営への支援・協力に対し感謝を表明した。
- オープンスクールの参加状況報告。
- 中学生が進学先として積極的に選択してくれるような魅力的な学校づくりに、より一層努力していると述べた。
- 本日の協議事項について
 - ・今年度の主な取り組みと課題
 - ・学校評価書の中間評価
- 授業見学では、ありのままの授業の進め方や生徒の様子を見て、忌憚のない意見を寄せてほしいと依頼した。

(2) 会長挨拶

- 学校運営協議会の意見を取り入れながら学校の魅力向上や情報発信が進み、良い方向へ向かっているとの所感を表明した。
- 懸念事項として、来年度からの授業料無償化が公立・私立間や都市・地方間の格差を拡大させる可能性を指摘した。このような状況下で、学校として独自の魅力を創出し発信していくことが、今後さらに求められるとの見解を示した。
- 先日の勝央町のイベントでのエピソードを紹介。ある中学生がインタビューに対し、高校でも金時太鼓の活動を続けるために「勝間田高校に行きます」と明確に語っていたことを嬉しく思うと述べた。
- 地域全体で学校を盛り上げ、中学生が勝間田高校に目を向けるような取り組みに対し、委員のさらなる協力を要請した。

(3) 事務局より

2 授業参観・施設見学

3 報告

【校長】

(1) 学校経営・組織編成に関する事項

- 令和7年度 学校経営計画書について
- 令和7年度 三つの方針(スクール・ポリシー)について

【事務局】

- 令和7年度 学校評価書(中間達成状況と評価)について

(2) 予算執行に関する事項

- 令和7年度の主な事業と予算(執行状況)について

(3) その他関連する事項

○令和7年度 主な事業・取組等について

1. 行事等

- (1) 勝央町関係
- (2) 小・中学校との連携関係
- (3) 校内行事等
- (4) その他

2. 情報発信

- (1) 地域協働活動コーディネーターによるSNS (Facebook、Instagram) での情報発信
- (2) 学校ホームページの更新
- (3) 「広報しようおう」紙面の提供

○新入生アンケート集計結果について

○令和7年度進路指導状況の報告

4 質疑・応答

【委員】

オープンスクールの参加者数を教えてほしい。

【事務局】

オープンスクール参加者数と学年別人数について回答。

【委員】

新入生アンケート結果と、否定的な意見を持つ生徒への対応について教えてほしい。

【事務局】

高校入学後の学校生活に対するアンケートで、「良い」「まあ良い」と回答する生徒が多い。一方で、否定的な意見の生徒への対応については、学年だけでなく学校全体の問題として認識しており、今後も全校的に対応していく。

【委員】

保健室利用者の増加とその主な要因について教えてほしい。

【事務局】

保健室利用者数と利用理由について説明。保健室は体調不良や怪我の手当だけでなく、「話を聞いてほしい」という生徒の心理的なニーズにも対応している。

【委員】

新入生アンケートを2年生・3年生にも実施してはどうか。

【事務局】

既に全生徒を対象とした「学校生活アンケート」を実施しており、そこでも生徒の困りごと等を把握している。「居心地」に関する設問が既存アンケートに含まれているかを確認し、必要に応じて追加実施を検討する。

【委員】

小学校・中学校でタブレットを用いた心の健康観察アプリが導入されており、早期に生徒の心の不安定さを把握できる。高校でも同様の仕組みを導入することで、生徒が相談しやすくなるのではないかと。

【事務局】

高校でも健康観察の一環として心の健康状態を入力する仕組みを導入しており、問題があった場合は教員が声かけや様子見を行っている。早期対応によるサポート体制が整っている。

【委員】

学校・県・勝央町の予算を活用した事業の生徒満足度や進路への影響について教えてほしい。

【事務局】

森林環境税を活用した「森の担い手育成事業」など、各種事業が県や学校、勝央町の予算で実施されている。具体例として、1年生で伐木安全講習を受講し資格取得、2学期からチェーンソー実習、2年生以降は伐木チャンピオンシップへのエントリーや放課後学習、スマート林業体験などがある。森林系列の生徒は少数だが、卒業後に森林関係の就職や専門学校進学、大学進学など進路実現につながっている。

生徒アンケート等の具体的な満足度データは現時点でないが、専門教育や地域連携を通じて生徒の進路意識が高まり、卒業後の進路実現に寄与している。

総合的な探究の時間の活動については、各講座には予算が配分されているが、満足度などを測るアンケートは現状実施できていない。改善のため、生徒からアンケートを取るなどして、次年度以降の活動に生かすためのデータ収集を検討している。

高校コーディネーターおよび地域協働活動コーディネーターは、昨年度までは県の事業として実施されていたが、今年度からは勝央町の支援を受け、引き続きコーディネーターが配置されている。

人材育成講座「カツトレ」について、昨年度最終回（第9回）で生徒アンケートを実施し、全員が満足度100%の肯定的評価をした。今年度は担当者との調整もあり、リニューアルを進めている。

ドリームファームイベントは地域の子どもや保護者が参加し、年々参加者が増加している。

【議長】

生徒が自ら学びたい・活動したいという意欲を学校が受け止めることが重要である。生徒の主体的な活動が学校の魅力向上につながる。

【委員】

学校の授業が楽しく、分かりやすいことが不登校や欠席者の減少につながっているのでは。学校のイメージ改善や、生徒の主体性・ポジティブな意見を積極的にアピールすることが需要ではないか。新入生アンケートに基づき、退学者や登校困難な生徒の現状について教えてほしい。

【事務局】

不登校生徒への対応と自立応援室の運用状況について説明。今年度から自立応援室を設置し、不登校復帰前のステップや緊急避難的な場所として運用している。現在は、弾力的な運用を進めている。転退学者数の現状を報告。

【委員】

自立応援室のような場所の運営が、生徒のエネルギーや学校・進路決定につながっている授業づくりと集団づくりの重要性、協調や助け合いの中で達成感を得ることが大切である。保健室だけで対応しきれない部分をどうカバーするかが課題である。

小学校との連携活動が多く、体験が進路選択や高校選択に影響を与えている。地域活動の継続には、教員だけでなく地域や行政担当者の関与が重要である。勝間田高校の活動に中学生も参加できるような取組が、進路選択の早期化や地域活性化につながる可能性がある。

【議長】

中学校と調整しながら連携を進めていく必要がある。

校長や事務局からの説明を受け、学校教育活動への理解が深まった。

～ 5分休憩 ～

5 協議

【議長】

協議テーマとして「勝間田高校のさらなる魅力化・教育の充実・人材確保の検討」を協議会中心で進める。

【校長】

勝間田高校の魅力化、教育の充実、人材確保の検討が課題である。

生徒の安心安全な学校生活の前提を踏まえ、保健室の活用実態と専門家配置の不足に課題があり、専門家常勤配置の要望と再編整備・定員の議論の必要である。専門家配置の必要性について意見を伺いたい。

高校再編整備に関して、県北地区校長会で県北の教育確保のため本校教育活動の強化を重視している。

【議長】

本年度は「教育相談・特別支援の人材確保」と「再編整備基準の見直し」を中心に要望する。

【校長】

昨年度の要望の内訳、再編整備基準の具体提案、教育相談関連について、今年度の要望予定について説明。

【議長】

今年度の要望書提出と、特別支援・教育相談の人的配置および再編整備基準に焦点を当てた県への働きかけ強化を行う。授業料無償化動向により都市部・私立へ生徒集中の懸念がある。公立の校舎の老朽化なども背景に、私立・都市志向が強まる可能性もある。

勝間田高校の魅力化の重要性、地域の活力源として学校存続を目指すため、県への要望を強く継続する。

意見書作成・提出は学校が行い、最終的な取りまとめは校長に一任することを承認。

意見書は第3回学校運営協議会で提示することを確認。

6 意見交換

【委員】

授業中の様子について伺いたい。

【事務局】

ユニット制廃止後のクラス授業と活動重視の授業方針の中で課題と反省点がある。学校の授業方針は、多様な活動や意見発表、複線型の学び（個別学習・ペア・質疑など）を重視している。全生徒が安心して受けられる授業規律の維持は重要であり、教員一丸で取り組む必要がある。ユニット制を今年度から廃止し、クラス単位授業へ移行しつつ、英語・数学は習熟度別の二分割を継続している。

7 閉会行事

事務局より

(1)第3回学校運営協議会について 2月下旬で調整

(2)その他

・清風祭文化の部のご案内